

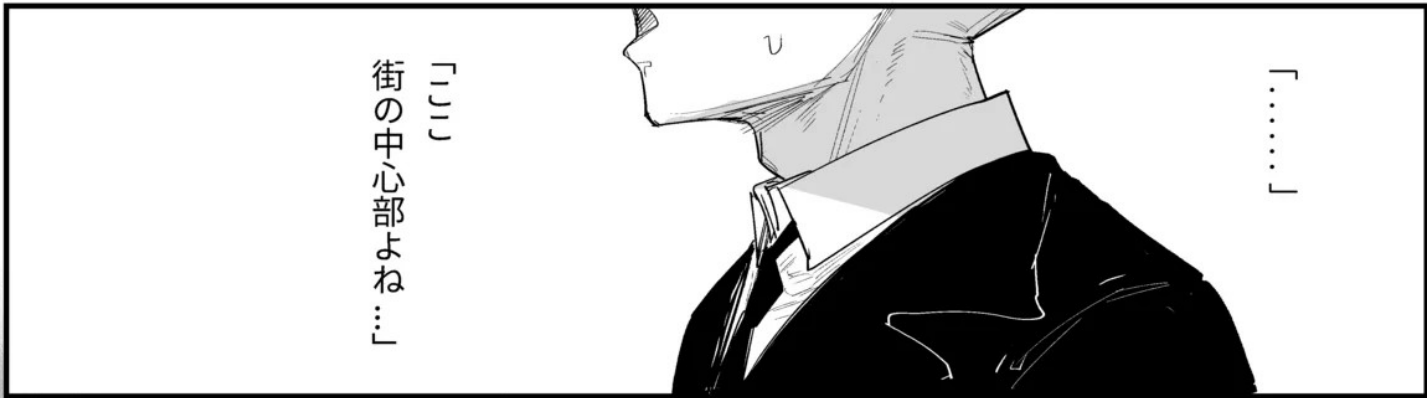
DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

小学生
教育

お嬢様
の





[.....]

「……」
街の中心部よね……」



「家庭講師として
雇ってくださり」

「お世辞は結構です」

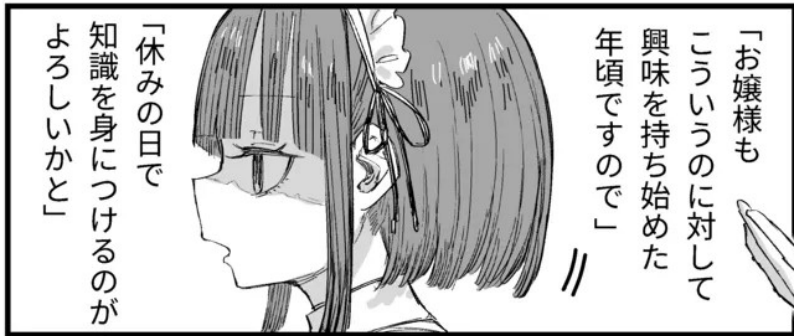
「感謝いたします」

「ちゃんと仕事を
してください」



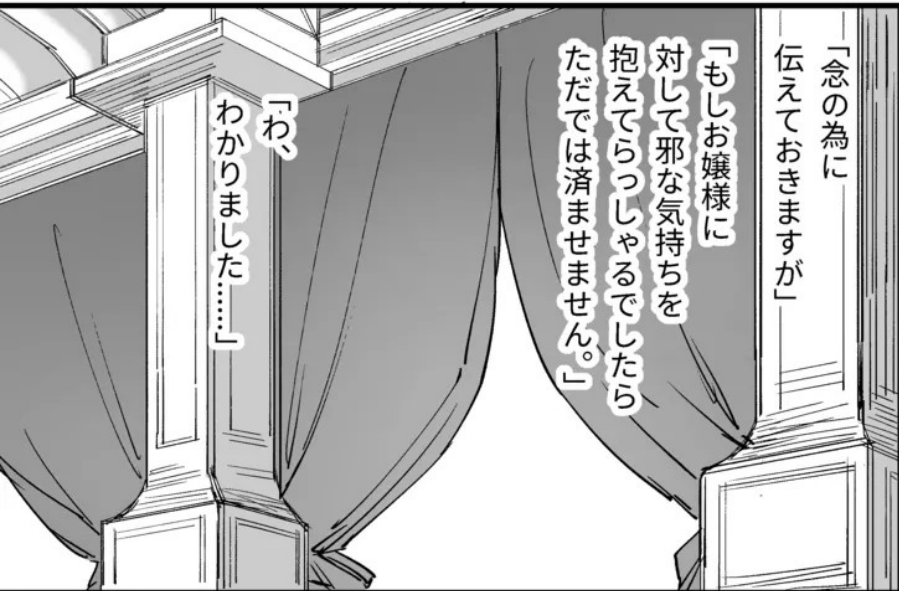
「……」

「話変わりますが
上層階級の方も
家庭教師雇って
らっしゃるですね」



「お嬢様も
こういうのに対して
興味を持ち始めた
年頃ですので」

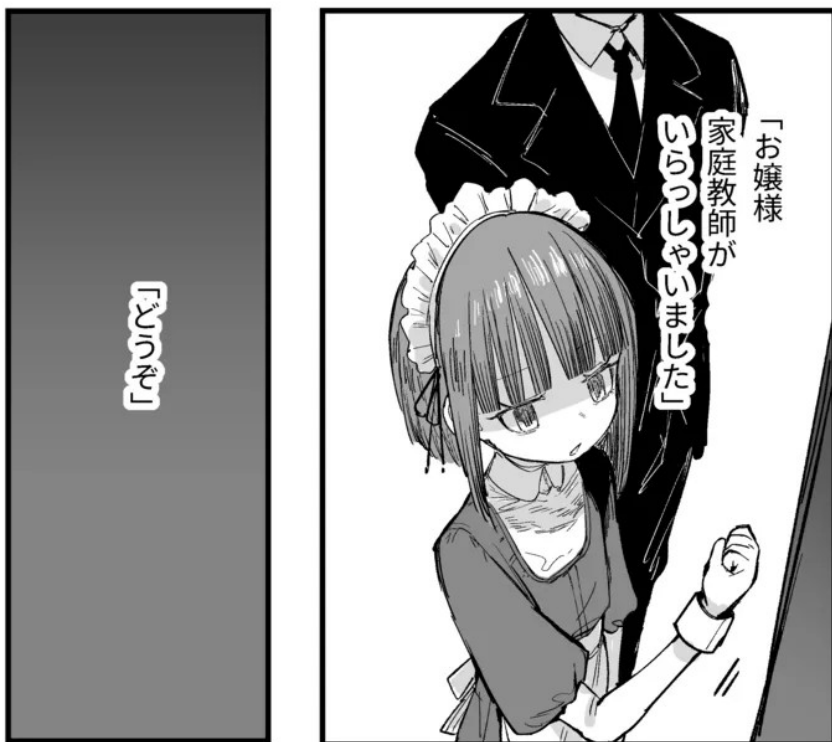
「休みの日で
知識を身につけるのが
よろしいかと」



「念の為に
伝えておきますが」

「もしお嬢様に
対して邪な気持ち
を抱えてらっしゃるでしたら
ただでは済ませません。」

「わ、
わかりました……」



「お嬢様
家庭教師が
いらしました」

「どうぞ」



「機嫌よ」

「わたくし
メルヤ・クスタアヴァ・スチユテレン
と申します」

「家庭教師様
よろしくお願ひしますわ」

「上記の腺体から
潤滑作用のある
液体を分泌する
そしてその液体は精子
に養分を与える」



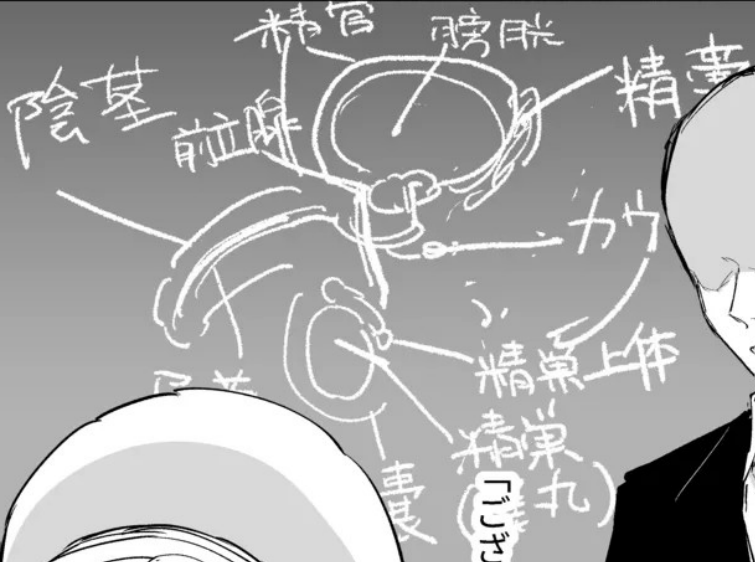
「生殖についての
説明は以上となりますが」

「何か不明点が
ございますか？」

「効果は
個人差が
ございますが」

「うん
うん」

「前列腺を
刺激することで
性的絶頂する
ことも可能です」



「ございませんわ」

「では
実技の授業を行います」

「はいですわ!!!」

「ほ…
本当にわかってる…?」



「状況をチェックさせて頂きます
スカートをめくってください」

「っかしら...」

「はは
くすぐりたいです」

「綺麗なお色です
触感も問題ない」

「ちゃんと
綺麗にして
おりますね」

「では
失礼します」



「自慰行為をしたこと
」や「まぢか?」

「25110500」



「あ……」

「申し訳ございません
先ほどの授業で
説明すべきでした」

「では
一度お手本
お見せいたしましょう」

「わかりましたわ
お願いします」



「先ず
陰茎に充分の刺激を
与えましょう」

「道具を使うのも
いいですか手の方は
一番手っ取り早いです」

「うううで
撫で回して」

「そして陰茎が
固くなりました」

「感じましたか
血液がここに流れ込んで
いるのを」

「おゝ
朝起きた時の同じ
状態になりましたわ」

「はい
これは勃起といえます
触ってみましょうか」

「ほっき……」



「次は自慰行為です
陰茎を握ってみてください」

「うん
でしようか？」

「そう
上手で動いごみ
まじゅん」

「うん
うん」

「ちゅっ♡癒らまぢ
お手伝いしませうか」

ん!?



「うう
手を陰茎を包み込む
ように握りしめ」

「上下する時は
もっと刺激を与えるよう」

「もっと激しくしても
大丈夫」

「ま、待って…先生…
何か…出そうです…」

「我慢しなくても
大丈夫です
感じたら出して下さい」



「これで
自慰行為のやり方を
わかりましたか」

「うん……」

はあ

はあ

「もちろん
では日課として
今週は毎日二回
練習してください」
「……わかりましたわ」

一週間後

「おはようございます」

「……おはようございます」

「前回と違うお洋服ですが
とっても似合っております」

「髪型も愛らしいです」

「……」

「……どうされ
ましたか？」

「わわ!!」

きゅ、急に近づけると……」

「……どうやら」

あまりいい状態では

なさそうなので

授業はまた今度に

しましょうか」

「い、いえ!」

大丈夫ですわ!」

M

「ただ……」

いえ、本当に

大丈夫ですわ!」

「この様子を、

見てると心配に

なってしまうので

些細なことでも構わないので

説明して頂けますか?」

っ

「わ、わかりましたわ……
実は……」



「二」週間

練習し始めた時
ぼつきすらできませんでしたわ」

「授業の時、
上手くできたのに
落ち込みましたわ」

「そして授業中
先生のやり方を
思い出したら…」

むー

「私の隣で
手取り足取り教えてくれた
先生の顔が目に浮かんで
陰茎も段々固くなりましたわ」





「そして…
先生のことを思いながら」

「自慰…しましたわ」

はあ

はあ

は

「先生には
大変失礼なことをした
自覚はありますが」

あ

ん

「でも…
私の手が…」

「ごうじても
止まりませんわ」

?



「結局
先生との触れ合いを
妄想しながら
射精しました」

「そっなんですね
でもなんて
顔を隠してるんですか？」

「そ、それは
先生の顔を
見てると…」

「ちっちの話を思い出すから
より恥ずかしいですわー!」



「わかりました
自慰行為をしている時
他人のこと、他人との親密行為
思い浮かぶのはごく普通のこと
ですから
気に病む必要はない」
「…そうなのですね」

「でも
もしこちらの顔を
見るのが恥ずかしいでしたら
今後の授業は
後ろから行えまじょうか？」

「本当によろしいのですか？」

正直まだ

先生の顔を直視できないですわ……」

「はい 大丈夫です」

「では
今日は陰茎を触れずに
射精する練習をしまじょう
まず胸から行きますね」
「わ……
わかりましたわ……」

「正確にいうと
乳首の方です」

「乳首とその周りを
刺激すると」

「よく見てご覧
ちゃんと勃起してる
でしょ」
「ほっきっ……」
「そう
これも
勃起です」

「角度とリズムを
変えながら」

「乳首に
刺激を与え続ける」

「先生…
乳首…おかし…
おかしですわ…」

「乳首敏感に
なってきましたね
それでは一度喋んで
乳首が弄られた感覚に
集中しよ」





「少し休憩して
後半の授業に
参りましょう」

はぁ

はぁ

「それにしても
初めての練習で成功
するあなたはすごく
才能あるんですね」

!



「本当ですか!!!」



授、授業を
続けてください

え、
その...

「わかりました
ではスカートを脱いでください
椅子の上でお尻を向いてください」
「こっつですか？」

「そう
もう少しお尻上げてくれますか」
「はい…」

「よくできました
それでは次は
前立腺イキを
みましょう」

「ぜんりつせん…？」

「以前の授業で
前立腺のこと説明
したことがあります
忘れても支障はない
では実際やってみましょ」

「あっ!？」



「まず
前立腺の位置を
見つからないと
始まらない」

「二本目
無事入りました」

「最初は異物感を
感じるかもしれませんが
段々慣れてくる
と思います」

「ふむ…
随分吸いついてるから
リラックスしてください」

「はい…
深呼吸…」

「二本目も入れます」



ん

ん

ん

!?

「基本は境目を辿ると見つかるはずですが…」

「お？
当たりか」

「感じましたか？
ここはあなたの前立腺です」

ん！？

あ

あ

あ

ん

「大丈夫ですか？
もしダメそうでした
一旦休憩しても…」

「へ…き…
…ですわ」

「わかりました
では次へと進めましょう」

「次を言っても
これで最後ですが」

「さっきの授業と同じく
ただただ前立腺を刺激するだけです」

「ちゅ♡」

✓







ん!?

ん!?

ん!?

ん!?

ん!?

「今日教えた二つの
やり方どっちも成功したね
大変よくできました」

!?

「褒美として
あなたに前立腺の機能を
一個教えましょう」

はー

はー

「え!?
な、なんですか!?!」

「先生!?
なにをするのですか?」





「あの先生……？」

「は？」

「わたくし射精したばかりですぐにぼつきなんてできませんわ……」

うん うん

あ……

あ

「大丈夫
こういう時は
こうして……」

ん



「前立腺に」

「ん...
おっしつみるん...」

は—

おん

は—

は

はあ—

「ほじ
この通り
勃ちましたよ
ちんぽ」

は

は—

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

「しかし
ほつきしても
もう射精ませんわ…」

「実は人の身体は
ご想像より遥に頑丈ですので
べつご心配なく」



「授業の最後に
メスイキを体験して
みましょう」



(こじわいですわ
もう射精せない
はずなのに……)

(身体が…勝手に……)





は

は

「せ、先生……」

はあ

は

「わたくし……」

ほんつこ

お

お

お

☆

☆

☆

☆

☆

☆

「だ」

「だめ……」

「です」

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

「だ、
だめ…」

「このまま…
射精したら…」

「壊れちゃう…」

「うん…
そろそろ頃合いだ」

「今です、
限界を達したと
同時に搾り出すように
全力で射精してください」

「もう」

「もう…
出さないで…」

「あ…
でも…」

「はあ」

「(身体が
言つくと
聞かない…)」

「はあ」





「よくできました
今日は」「」まで」

「今日の授業
負担が大きかったので
数日休んでから練習を
再開しよう」

は

は

あ

お嬢様



メーシマ



初期デザイン

お嬢様(♂)の性教育

発行日：2025/12/31

作者：013

サークル：セロイチサン

印刷：ねこのしっぽ 様

X(旧Twitter)
@hamsasuke0



Pixiv
users/2932467



DLsite
(電子版)

